

市民フォト

No.12・2012年秋号

ふくしま

夢

通信





# わらじまつり 福島の元気! はじける!



8月3・4日の両日、福島市の夏を彩る「第43回福島わらじまつり」が開催されました。伝統を受け継ぎながら新しいことに挑戦していこうと名物の大わらじに加えて長さ7mの「福幸わらじ」も新登場。福島のおふれる元気を全国に発信しました。



江戸時代から続く「信夫三山さむらい眺ま

いり」は、旅の無事や健脚を願って羽黒神社に大わらじを奉納したことが始まりだと言われています。その祭りに由来する夏の風物詩が「福島わらじまつり」です。日本一の大わらじの伝統を守り、冬の「眺ま

いり」に奉納された大わらじと合わせて一足とすることで、より一層の健脚を祈願する意味も込められています。

今年の大わらじの奉納では、大わら

じのほか、夜空に向かって立つ長さ約7m、重さ約1トンの「福幸わらじ」も登場させるなど、趣向を凝らした新しいプログラムに沿道から大きな拍手が沸き起こっていました。

また、23団体、約2,600人による「わらじおどり」、ヒップホップ調の音楽に合わせて踊る「ダンスングソーだナイト」、さらに「わらじ競走」もにぎやかに繰り広げられ、2日間にわたって福島の元気はじけました。

1~6 わらじおどり  
7 大わらじパレード  
8 福幸わらじ  
9~11 わらじ競走

3・10 撮影：平成24年度市民カメラマン 佐久間智之さん  
6 撮影：平成24年度市民カメラマン 突戸 良之さん  
7 撮影：平成24年度市民カメラマン 吉井 勝美さん



▲撮影：平成24年度市民カメラン 加藤秀雄さん



▼撮影：平成24年度市民カメラン 吉井勝美さん

**仕事も祭りも全力投球！  
今年は特に感謝の気持ちを含めて踊りました**

一助になればという思いからでした」チームワークで一つのことを成し遂げるといふ点で祭りは日々の仕事と共通しています。部署や職種を越えて人のつながりが深くなったり、元気を届けるつもりが沿道からの声援に元気をもらったり、毎回得るものがたくさんあるそうです。

「特に今年は、昨年震災で救護活動をしている時に、被災された皆さんに掛けていただいた『ありがとう。頑張つて！』という声忘れられず、私も『元気』と『感謝』を届けたいと思って踊りました」沿道の歓声と一体となって2時間踊り通した後の達成感と爽快感も祭りの魅力。「みんなで喜びを分かち合いながら、やっぱり私たちは福島っ子なんだと実感しました」

後日、職場を訪ねると、普段どおり命と向き合い、支える仕事に励んでいました。「わらじまつりでリフレッシュしてパワーをもらいました。ますます仕事を頑張れます。来年の夏も仲間と一緒にはじけます」と、仕事も祭りも全力投球する渡邊さんらしい言葉。その笑顔は、とても爽やかでした。

### 祭りは、家族の絆を深める日 体力の続く限り踊り続けます

結婚後、4人のお子さんに恵まれた阿部由美子さん。「三河台まつり愛好会」に入会したのは、今から7年前。引つ込み思案だったお嬢さんのために、心から何かを楽しむ経験させたいと思ったのがきっかけだったそうです。その後、大人も子どもも一つになって踊る喜びを知ったお嬢さんは、ダンスサークルのキャプテンを務めるほどに。そして阿部さんも「気が付くと勧めた私自身が夢中になっていました。福島市のメインストリートで練り広げられる踊りは壮大。仕事とも家庭とも違う非日常的な空間で、自分を表現するって最高！」いつしか家族全員で参加するようになり、昨年からはお孫さんも含めて三世代で「わらじまつり」に参加している阿部さんご一家。

「毎年アウトドアで家族の絆を深めてきた私にとって、今では家族で祭りに夢中になることが大切な一日。次男も東京から帰省して参加しているの、体力の続く限り踊り続けたいと思っています。踊っている



福島赤十字病院  
手術室看護係長  
渡邊あゆみさん



▲鳴子を手に踊る渡邊さん



◀お孫さん、息子さんと一緒に元気に踊る阿部さん



▲家族や愛好会の仲間と共に



三河台まつり愛好会  
阿部由美子さん



◀病院チーム一体となって踊りました

# ふくしまのくだもの体感ツアー

Welcome to FUKUSHIMA!



7月28・29日に「ふくしまのくだもの体感ツアー」が行われました。首都圏を中心とした県外の方を対象に、「いで湯とくだもの里」福島市に足を運んでいただき、果物狩りや盛夏の福島路を満喫していただくものです。このツアーは、参加者の皆さんの目で元気な福島市を見ていただこうと昨年からの実施しています。



▲地域の人たちとの触れ合いも旅の楽しみの一つ。ラッピングバスに乗った参加者の皆さんと地元の方々

▲いよいよモモ狩り。自然と笑顔がこぼれます



▲畑には、熟したモモがいっぱい!

29日に行われたモモ狩りでは、果樹園の方に美味しいモモの見分け方を教えてもらいながら、取れたての甘くてみずみずしいモモをたくさん食べていただきました。



取れたてのモモを丸かじり!

## ツアー参加者のお話

東京都  
尾川 善昭さん・時子さん  
凌太くん[小学1年生]

「昔、福島市に住んでいて、それ以来、たびたび福島を訪れています。今回は孫に福島の美味しいモモを食べさせてあげたいと思ってツアーに参加しました」

凌太くん:「福島のモモは甘くてとってもおいしい!」



# 夏のリフレッシュ体験

海・山・川でいっぱい遊んで夏休みの思い出づくり!

屋外活動が十分にできない福島市の子どもたちに、夏休みに元気いっぱい遊んで心身のリフレッシュをしておうと、昨年に引き続き7月22日から8月25日まで、いわき・南会津・那須・佐渡・夕張の5コース(計28班)で開催。3,138人が参加しました。



那須

▲みんなでおいしい昼食作り!



佐渡

▲海風を受けながらのたらい舟体験



みんなで力を合わせて頑張ろう!

## 川に入って魚のつかみ捕り



南会津

みんなと一緒に楽しくね!



木のオモちゃを手作りしました!

子どもたちが伸び伸びしていて、すごく楽しそうでした。短い時間でしたが、みんな個性的で元気いっぱいでも仲良くなることができました。子どもたちの思考や行動が控えめにならないためにも、とても意味のある事業だと思います。これからも継続してほしいですね。



ボランティアとして参加した  
佐藤 かおりさん  
[福島大学 4年生]

# 「こでらんに博」スタート!

「こでらんに」とは福島の方言で「たまらない、最高だ」という意味。本市の雄大な自然と四季折々の美しい花々、数多くのおいしい果物、そして個性豊かな温泉。これらの魅力を生かし、市内で開催されるさまざまなイベントを博覧会に見立てた「福島市こでらんに博」が、今年の秋から3年間にわたって開催されます。

国内外の多くの皆さんに本市の魅力を体感していただき、安全・安心・元気を発信します。

## 福島市こでらんに博実行委員会

【社】福島市観光コンベンション協会内  
〒960-8031 福島県福島市栄町1-1 ☎024-531-6432

福島市こでらんに博  
公式ホームページ

こでらんに博

検索

クリック

## 秋のおすすめイベント

### ■全国やきとリンピック in ふくしま

と き/10月6日(土)・7日(日)  
午前11時～午後8時(最終日は午後6時まで)  
※開会式は午前10時30分から  
と ころ/さんかく広場ほか  
内 容/全国の7大焼き鳥タウン(室蘭・美唄・福島・東松山・今治・長門・久留米)の名店の焼き鳥が一堂に勢ぞろい  
問い合わせ/全国やきとリンピックinふくしま実行委員会(福島民報社内)  
☎024-531-4161



### ■第3回全日本曲技飛行競技会

と き/10月6日(土)～8日(月・祝)  
午前9時～午後4時(最終日は午後2時まで)  
と ころ/ふくしまスカイパーク  
内 容/航空競技エアロパティックの日本一を決める大会。世界の空で活躍する室屋義秀(むろやよしひで)さんによるエキシビジョンフライトなど  
問い合わせ/ふくしまスカイパーク  
☎024-558-6880



▲迫力満点の航空ショー

### ■全国餃子万博inふくしま

と き/10月13日(土)・14日(日)  
午前10時～午後5時  
(最終日は午後4時まで)  
と ころ/JRA福島競馬場  
内 容/福島をはじめ、海外や全国各地のご当地ギョーザ販売と県内の人気グルメを味わえるブースを設置  
問い合わせ/全国餃子万博inふくしま実行委員会(福島商工会議所内)  
☎024-536-5511

### ■こでらんにフェスティバル2012

と き/10月20日(土) 午前10時～午後4時  
と ころ/街なか広場  
内 容/  
◆3世代ダンスユニット デビューアトラクション  
「福島市こでらんに博」PRのために結成されたダンスユニットが初お披露目。福島の元気をダンスで発信!  
◆こでらんに市場  
市産野菜の直売。「街なかマルシェ」なども同時開催  
◆食の復興イベント 巨大鍋海鮮パエリア  
福島市初! 市産の食材をたくさん使ったパエリアで、食の安全・安心をアピール  
問い合わせ/福島市こでらんに博実行委員会  
☎024-531-6432



▲巨大鍋海鮮パエリアが本市初登場

## CONTENTS

2 特集  
福島わらじまつり2012

6 海・山・川でいっぱい遊んで  
夏休みの思い出づくり!  
夏のリフレッシュ体験

7 Welcome to FUKUSHIMA!  
ふくしまの  
くだもの体感ツアー

8 インフォメーション  
●こでらんに博スタート!

### 表紙紹介

「わらじまつり  
(ダンシングそ〜だナイト)」



撮影:佐久間 智之さん  
(平成24年度市民カメラマン)  
撮影地:国道13号信夫通り

華やかな踊りと衣装、イキイキとした表情が、華やかに夏の夜を彩りました。踊り手だけでなく観客の皆さんも、輝く瞳と自然にほころぶ笑顔が印象的でした。

## 市民フォト・ふくしま夢通信

平成24年10月1日発行 No.12 2012年 秋号

ホームページもご覧ください ▶

福島市

検索

クリック

編集  
発行

## 福島市役所 広報広聴課

〒960-8601 福島市五老内町3-1  
☎024-525-3710 FAX.024-536-9828

E-mail: kouhou@mail.city.fukushima.fukushima.jp